

全柔連発第 28-0090 号  
平成 28 年 4 月 21 日

都道府県柔道連盟（協会）  
安全指導員 殿

公益財団法人全日本柔道連盟  
重大事故総合対策委員会  
委員長 野瀬清喜  
(公印略)

## 初心者の重大事故抑止について

平素より、当連盟事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

当連盟では、かねてより柔道にかかる事故防止に取り組んでいるところですが、残念ながら、昨年度、4 件の重大事故が発生しました。(添付資料 2 参照) また、これまでの事故統計によれば、重大事故は柔道を習い始めた初心者が、この時期(5～7 月)に被災する傾向があります。

こうした事故を繰り返さないために、特に初心者の重大事故抑止について、貴連盟(協会)に置かれましては、下記の項目について再確認いただき、指導者及び競技者に周知徹底くださるようお願いいたします。

なお、重大事故総合対策委員会は、本年 4 月より、特別委員会から常設委員会として活動します。

### 記

#### 1 『柔道の安全指導』第四版の再確認と周知

今回の改訂では、脳震盪を同定(判断)する指標と練習への復帰プログラムを追加しました。(2015 年 10 月)

全柔連のホームページからダウンロードできます。また指導員には配布済と思いますが、講習会などで冊子が必要であれば、全柔連倫理推進室まで連絡をください。

#### 2 DVD『柔道の安全指導』の活用

授業や部活動、柔道教室などの導入教材として作成しました。(2015 年 2 月)、昨年 2 月に都道府県柔道連盟(協会)に送付済ですが、ユーチューブ

でも視聴可能です。

3 「大外刈による事故や怪我を防ぐために」の再確認と周知

大外刈の段階的指導手順例を示しました。昨年12月に都道府県柔道連盟（協会）に送付するとともに、広報誌「まいんど」6号にも掲載して登録団体に送付しました。また全柔連ホームページにも掲載しています。

4 道場掲示資料の周知

「柔道をはじめるあなたへ」「もしも頭を打ったら！」の2編を広報誌「まいんど」7号に同封し、登録団体に送付しました。

なお、「もしも頭を打ったら！」及び「道場掲示資料解説」は、今年度版を一部改訂しました。（資料1）

道場掲示資料は、「熱中症を防ごう」「頸椎事故を防ごう」とあわせてホームページにも掲載しています。

5 平成27年度重大事故について（資料2）

死亡2件を含む4件の重大事故が発生しております。資料として活用ください。

以 上

問合せ先  
公益財団法人全日本柔道連盟  
倫理推進室 小森、富田  
電話 03-3818-4199  
Fax 03-3812-3995  
Email h.komori@judo.or.jp

## 資料 1

### 「重大事故ゼロは全ての柔道人の願い」

公益財団法人全日本柔道連盟  
重大事故総合対策委員会

本連盟では、昨年、掲示資料「柔道をはじめるあなたへ」「もしも頭を打ったら」「熱中症を防ごう」「頸椎事故を防ごう」編を作成し配布いたしました。これら資料は、既に道場等に掲示していただき、指導者や子どもたちの安全意識向上に役立てていることと存じます。

残念ながら、昨年度は重篤な柔道事故が複数起こりました。全ての指導者が安全確保、事故根絶に向けて決意を新たにしなければなりません。

平成28年度の始まりに当たり、道場掲示資料「柔道をはじめるあなたへ」「もしも頭を打ったら」（一部改訂）編を、改めて配布いたしました。5月から7月の時期は、柔道を始めただばかりの初心者の事故が多く報告されています。これから柔道始めるみなさんをはじめ、柔道に関わる全ての方々に資料を活用していただき、事故根絶に向けて、一層ご尽力いただきたく、お願い申し上げます。

#### ○柔道をはじめるあなたへ

「相手を思いやろう」

柔道を学ぶ上で最も大切な心構えです。礼儀正しい挨拶を行うとともに、稽古相手への感謝と思いやりの気持ちをもちましょう。

「正しい受身・投げ方を身につけよう」

どんな状態で投げられた時でも頭を打たない、けがをしないよう受身を習得しなければなりません。また、投げた相手がけがをしないよう、姿勢を崩さず引き手を引き、相手の安全を確保する正しい投げ方を身につけましょう。

「基礎体力を身につけよう」

柔道は格闘技の要素をもつ激しい競技です。地道なトレーニングで首や体幹を鍛え、心肺機能を高め、稽古に耐えられる強い身体を作りましょう。

#### ○もしも頭を打ったら！

「すぐに練習をやめて安静にしよう」

時間が経過して重篤な事態に急変する事例も報告されています。頭を打ったら、たいしたことがないと思っても、すぐに練習をやめ、決して一人にはせず、経過観察を行いましょう。

「少しでも異常を感じたら、医師の診察を受けよう」

頭痛、吐き気、意識低下等、少しでも異常を感じたら、必ず医療機関で医師の診察を受けましょう。

「練習を再開するときは、必ず医師の許可を受けよう」

症状が回復しても自分で判断してはいけません。段階的競技復帰プロトコール（「柔道の安全指導第四版」参照）に基づき、必ず医療機関を受診し、医師から活動再開の許可を受けましょう。

## 資料2

## 重大事故報告一覧（平成27年度）

	日時・場所	受傷者・病名	事故状況	事故後措置
1	5月21日 午後5時30分頃 大分県高校道場	高校1年生 急性硬膜下血腫 柔道歴 9年	乱取り中受傷 乱取り中、受傷者が右大内刈をかけたところ、相手が左小外刈ぎみに大内返に変化し、受傷者は後頭部を畳に打った。	倒れた後、救急車を要請、ドクターヘリで搬送した。 10月現在、意識は戻らない。 手足は少し動く。 平成28年3月見舞金確定
2	5月22日 午後6時45分頃 福岡県中学道場	中学1年生 急性硬膜下血腫 柔道歴40日	約束稽古中受傷 約束稽古で相手が大外刈をかけると言い、受傷者が「はい」と返事をし、互いに組み合せて投げた。技をかけた生徒は引手を離さないように気をつけ投げたが、受傷者は立ち上がれず、呼びかけにも答えなかった。	受傷後、救急車を要請、搬送したが、27日午前10時40分死亡した。
3	8月14日 午後3時30分頃 神奈川県横浜市青葉区サイクリングロード上	高校1年生 熱中症 柔道歴11年	トレーニング中に発症 午前中県立武道館で練習、3分5本5セットの1セット、5セット目に基に立つ。午後は3時から川沿いのサイクリングロードでダッシュを実施。3本目に道路上に座り込んだため、休むように指示をし、その後5本終了時に、寮に帰るように伝えた。その数分後コーチが様子を見に行き、出発地点から約150mのところ倒れているを発見した。	救急隊を要請、搬送したが16日午前7時41分死亡した。 当日の横浜市午後3時の気候曇り WBGT 30.2度 気温 32.2度
4	12月12日 午後2時40分頃 兵庫県大学武道場（合同稽古）	中学2年生 第3頸椎脱臼骨折 柔道歴1年7ヶ月	受傷者左組み、相手は右組みで、他校の中学校指導者（高段者）。それぞれ引手、釣手を持ち受傷者が左内股をかけた。受は右足をあげ、内股すかしの感じで受けた。受傷者は体勢を崩し、そのままうつ伏せに倒れこんだ。受も体勢を崩し、受傷者に乗りかかる状態であったが、全体重がかかったわけではない。	緊急搬送し、手術（6時間）を行った。手助けはいるが、歩行訓練を開始した。左手はかなり動くようになり、右手は動きにくい。